

1. 会議名	令和5年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和5年(2023)7月25日(火) 18:00~19:50
3. 開催場所	出雲市役所本庁1階 くにびき大ホール
4. 出席者	<p>《委員》</p> <p>【出席】</p> <p>山岡 尚会長、山岡 忍副会長、安部 宏委員、陰山 篤也委員、來間 久委員、  児玉 俊雄委員、角 健二委員、田中 由美子委員、壺倉 浩平委員、長島 憲人委員、  長瀬 理更委員、原 久子委員、保科 孝充委員、榎原 綾子委員、松浦 研二委員、  三島 慎也委員、渡部 由美委員</p> <p>【欠席】</p> <p>加本 るい委員、坂根 俊委員、須山 賢也委員、中澤 雅美委員、原 八重子委員、  三島 善子委員</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、商工振興課職員(5名)、産業政策課職員(1名)</p> <p>《ワーキンググループ》</p> <p>①『出雲STYLE』ブランド開発グループ  ・松井(株) グラッピーノ店長 原田 幹也 氏</p> <p>②出雲市内資金循環促進ワーキンググループ  ・(株)田中種苗 代表取締役 田中 充 氏  ・松井(株) 代表取締役 松井 修一 氏</p> <p>③多伎元気プロジェクト  ・(株)多伎振興 営業統括 柳楽 順也 氏  ・NPO法人ぼんぼん船 理事 柳楽 好美 氏  ・NPO法人出雲フィラント<sup>®</sup>協会 事務局長 河上 史子 氏</p> <p>④飲食DXプロジェクト  ・(株)エクスペイン 代表取締役 松尾 貴久 氏</p>
5. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 令和4年度 出雲市中小・小規模企業振興モデル事業の報告について</p> <p>(2) 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和4年度の実績について</p> <p>(3) 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和5年度の目標設定について</p> <p>(4) 出雲市中小企業・小規模企業振興計画の令和5年度の予算・取組について</p> <p>3. 閉会</p>

6. 会議内容（概略） ※敬称略

- 事務局
- ・本日は、ご多用の中をお集まりいただき感謝申しあげる。
  - ・ただいまから、令和5年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を開会する。
  - ・本日は、23名の委員のうち6名が欠席のため、17名で会議を開催する。
  - ・7名の委員の交代があった。

平田商工会議所 長岡 明生（ながおか あきお）委員の後任として山岡 忍（やまおかしのぶ）委員、

出雲市議会 伊藤 繁満（いとう しげみつ）委員の後任として保科 孝充（ほしな たかみつ）委員、

出雲市議会 板倉 一郎（いたくら いちろう）委員の後任として児玉 俊雄（こだま としお）委員、

公益財団法人しまね産業振興財団 馬庭 伸行（まにわ のぶゆき）委員の後任として松浦 研二（まつうら けんじ）委員、

出雲商工会 加村 健悟（かむら けんご）委員の後任として三島 慎也（みしま しんや）委員、

NPO法人ビジネスサポートひかわ 持田 幹男（もちだ みきお）委員の後任としてNPO法人ミライビジネスいずも 長島 憲人（ながしま のりと）委員、

出雲市経済観光部 橋本 孝（はしもと たかし）委員の後任として出雲市商工振興部 角 健二（すみ けんじ）委員

以上の皆様に新たに会議の委員を委嘱している。

- ・以降の進行を山岡会長にお願いする。

《議題1：令和4年度 出雲市中小・小規模企業振興モデル事業の報告について》

（18：05～19：35）

委員 出雲市中小・小規模企業振興モデル事業について、各WGから事業報告をしていただく。

【『出雲STYLE』ブランド開発グループ】（資料1-1）

委員 Google 広告について、広告から販売につながった件数や割合について把握されているか。

説明者 販売につながったのは1年間で20件程度。カートに入れるまではいくがそこからの購入率が5%程度と低い。得られたデータを基に見直しを行っている。

委員 それらの分析も含めて業者に委託をしているのか。

説明者 解析については委託しており、それらの課題に対しては社内でも勉強会などを開いている。

委員 事業計画について観光分野への波及効果が記載されていたが、事業実施を通じて効果があったか。

説明者 現段階ではできていない。商品の販売を通じて出雲市に興味をもってもらうためにツイッターやインスタグラムなどのSNSでの発信を通じて観光につなげていくという展望はある。

委員 出雲市にはとても良い観光資源があるので、ぜひとも観光分野にもつなげていただきたい。

【以下次項】

委員	イズモトリコというブランド名だけではなく、ブランドコンセプトに記載のある「あなたが夢中（とりこ）になるような～」なども含めて素晴らしいと感じた。このブランドを今後さらに広げてもらいたい。
委員	ブランドの今後の展開については、委員の皆さんも気になっているところだと思うが、今後の展開についてどのように考えているか。
説明者	地元の営業を通じて既存商品を販売するとともに、ブランドロゴを活用したオリジナル商品の開発や、これまで組み合わせることがなかった業者同士の商品を合わせて販売するなどを検討している。
	<b>【出雲市内資金循環促進ワーキンググループ】（資料1-2）</b>
委員	資金循環や外貨獲得などの手段としてデジタル通貨を使うという取り組みが非常に良いと思う。また継続性を考えてシンプルな形で行われるのが大切だと思う。平塚市や盛岡市など成功事例があり、ポイントの付与などについて今後、他市の事例を研究しつつ進めていただくことを期待する。 これらの取り組みについては信頼性の観点から行政が窓口になることが多いと思うが、出雲市としてはこれらの取り組みについてどのように考えているか。
事務局	今回のモデル事業も含め、地域通貨については議会などでも話に上がっており、これらの導入にあたり、先進地視察（会津若松市・木更津市）などを通じて導入可否も含め検討をしていきたい。地域での経済循環は地元事業者の皆様がいかに良い形で事業をしていけるかが重要になるため、その点も踏まえて研究をしていきたい。
委員	J-coinについては非常に興味があり、先般みずほ銀行で仕組みについて説明を受け、地産地消・域内循環として優れたシステムであると感じた。システムの構築については、行政や議会が指定することは難しいと思われるが、商工団体や銀行がシステムを構築し、そこに行政が乗るといった形がよいのではないかと。今回の事業は商工団体が協力されていたと思うが、今後どのように進めていくかについて、商工団体にお考えを伺いたい。
委員	昨年度はJ-coinを活用して事業を実施した。昨今の他市事例を見ると、決済システムの柔軟化や換金の簡易化などシステムが進歩しているが、それは他のシステムにおいても同様だと思われる。J-coinにこだわることなく検討を進めるべきだと考える。また、そもそも何を求めて活用するかを考えなければならない。会津若松市の取り組みはマイナンバーカードを含め行政の様々な内容を盛り込んだ大掛かりなものだと感じた。引き続き情報を集め、行政や金融機関と連携をしつつ進めていきたい。
委員	マイナンバーカードの活用や地域通貨については進めていくべきだと考える。今後のシステム普及に向けて、早い段階でコンセンサスを取りシステムの基礎を固めておくべきだと思う。
委員	利用者アンケートにおいていろいろな世代の方が地域内循環に前向きに考えていることが良いことだと思った。地域内経済循環が地域のためになるということを学校などで学ぶことが重要だと思う。様々な機関と連携して事業を進めてこられたと思うが、昨今の教育現場ではSDGsなどを学んでおり、持続可能な社会への興味・関心が高い。現在社会生活の主体となる世代は少しでも安価なものを求めつつあるが、より若い世代に早いうちから地域内循環の大切さを学んでほしいと思う。例えば職業体験などでも地域内循環について触れることもよいのではないかと。今回の取り組みは大変有意義な事業であったと思う。
説明者	当初メンバーの中から地域を愛する心を育む教育プログラムについて発案があり、実施も検討したが、活動の主軸がぼやけてしまう懸念があったので実施まではいたらなかった。今後この

グループで事業を継続することは難しいと思うが、他のグループで引き受けていただければ協力などしていきたい。

若い世代が金額やポイントを求めることについて、地域内循環をアピールするだけでは参画してもらうことは難しく、何らかのメリットをつけ、購入後に地域内循環をアピールするという方法も講師から挙げられ、それらが実現できればより地域のため取組になると思う。

委員 今回取り組まれた事業の結果について非常に興味深いものであると感じた。

本キャンペーンの対象となる61店舗についてはもともと J-coin を使われていた店舗であるのか。

説明者 本事業については旧出雲市エリアに限定して実施した。また、物販についての資金循環を見たかったため、大手スーパーや県外事業者、コンビニなどは除外し、対象店舗として地元の物販事業者のうち、J-coin 加盟店舗以外も含め商工会議所加盟店舗の中からリストアップし120～150件程度に声掛けをした。実際に J-coin 加盟店以外からも協力をいただいた。

委員 参加店の業種割合はどのようなようであるか。

説明者 手元に詳細値がわかる資料がないが、主だったところでは食品関係や服飾系（雑貨家具）、その他自転車店など物販の店舗から多岐にわたり参加された。

委員 検証値は1か月間の数値で間違いはないか。

説明者 間違いはない。

委員 キャンペーン期間中の決済件数の増加はこのキャンペーンによるの成果として考えられるか。

説明者 広告やチラシ配布、Facebook などで周知を行った。それらの情報発信が決済件数の増加につながったと考えられる。

委員 加盟店の協力やシステムの説明などが、ハードルが高い部分だと考えられるので、今後の事業実施については商工団体にもぜひ協力していただきたい。市については行政サービスとの連携が地域通貨のトレンドであるので、それらの連携を検討していただきたい。事業者においては IT 導入にかかる補助金などを活用して導入するケースがみられるため、それらを活用したうえで出雲市としての地域通貨ができるとよいと思う。

委員 地域内資金循環の方法の一つとして、J-coin などの決済システムを使うことが考えられるが、それ以外にも選択肢があるのではないかと思う。一つのシステムに限定するとそのシステムを使う人々に特化した取り組みに陥りやすい。今年10月から「ことら送金」という送金システムが全国でスタートする。これらのキャッシュレスという分野は今後さらに発展することが想定され、選択肢についてはまだ検討の余地があると思う。地域通貨で地域活性化をしている自治体は多くあるので、事例研究を重ね、今後に向けて下地を育てていくことが必要であり、今回の取り組みは勇気のあるチャレンジだったと感じた。

#### 【多伎元気プロジェクト】（資料1-3）

委員 フィンランドについて、センスが良く素敵なイメージがある。作成されたトントウのグッズについて販売するものとしては少しチープ感があると感じた。フィンランドとのつながりをイメージするものとして、商品開発のためのもう一工夫が欲しいと感じた。地元産業とフィンランドとのつながりやこだわりが感じられるような商品が開発できればよりよいのではないか。

【以下次項】

説明者 例えば文房具については、道の駅に立ち寄った子どもをターゲットとして考えている。買って、持ち帰って、そこで話をしてもらおう、というコンセプトがあり、お土産として購入するための敷居を低く設定している。マリメッコなどはきららコテージなどで販売しているが、こちらは高額であるため、文房具のように気軽に子供が買うというのは難しいと思われる。それらのコンセプトに基づく価格設定になるため、文房具等について若干チープ感があることについてはご理解いただきたい。

委員 インスタグラムを拝見したが、トントゥについて「#トントゥ」が存在せず、情報発信するならそのあたりの設定は必要ではないか。また、トントゥをサウナの妖精として扱っている他の団体もあるので、多伎町としてのトントゥをどのように作り上げていくか工夫が必要であると思う。

説明者 トントゥはフィンランドの話に出てくる妖精であるが、多伎においては、日本で生まれたトントゥの子どもたちを主役にして今後発展させていく考えである。そのままのトントゥ＝多伎町にはしばらくのところではあるので、イチジクのトントゥや夕日のトントゥなどのバリエーションを持たせるなどして今後広げていきたいと考えている。

委員 トントゥをインターネットで調べるとサウナとの繋がりがみられる。インバウンドの回復に伴い、サウナなどつなげたブランディングなどを行うと、より広げることができるのではないかと思う。

#### 【飲食DXプロジェクト】(資料1-4)

委員 実施したのは1店舗か。

説明者 1店舗である。予算の限りもあったので1店舗でHPの作成も含めて行い、利用者の利便性、スタッフの操作などについて検討を重ねながら構築した。簡易なシステムであるので横展開への波及効果はあると思われる。

委員 横展開について、具体的に関心を示されている他業者はあるのか。また、当初予定されていたライブカメラについて、導入するには非常に高額であるのか。

説明者 昨年10月ごろからコロナの反動で非常に客数が多くなり、スタッフのシステム操作のオペレーションなどの反省点や課題を踏まえたうえでシステムを再構築し、2月に実証を行った。このシステムが来店につながったというエビデンスがまだなく、他社へのPRができないので、それらのデータがそろったところでアプローチをかけていきたい。ライブカメラについて、一部屋ごとにつけるのは非常に高額になり、また、従業員が誤って空いていない部屋を映してしまった場合、個人情報保護の観点からリスクになるため現在のシステムに方針を変更した。ライブ感を味わうためにはカメラを使った発信ができればよいとは思っていた。

委員 以上で、全WGからの説明が終了した。

#### 《議題2：出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和4年度の実績について》

#### 及び《議題3：第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和5年度の目標設定について》

(19:35～19:50)

委員 議題2、3について、事務局に説明をお願いします。

事務局 [資料2、資料3に基づいて説明]

委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委員全員 意見等なし

【以下次項】

《議題4：出雲市中小企業・小規模企業振興計画の令和5年度の予算・取組について》

委員 議題4について、事務局に説明をお願いします。

事務局 [資料4に基づいて説明]

委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委員全員 意見等なし

委員 以上で本日予定されていた議題等の審議は終了となる。進行を事務局にお返しする。

事務局 次回会議については、実施時期など事務局で検討の上、改めて案内を発出する。

以上をもって、令和5年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を閉会する。